

# ちの市議会だより

第33号

2020年5月20日

発行／茅野市議会  
編集／議会広報部会  
〒391-8501  
長野県茅野市塚原二丁目6番1号  
☎ 0266-72-2101  
FAX 0266-73-7936  
<https://www.city.chino.lg.jp/>

WEBで検索 茅野市議会 検索

目次	
委員会の審査	29
本会議討論	32
議決結果・賛否一覧	33
一般質問通告一覧	34
請願陳情議決結果	35
おやすみ館見学	36
広域連合と一部事務組合	37
編集室より	39

## 新型コロナウイルス 対策で市長に申入れ

茅野市議会は4月15日の全員協議会において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛要請が出される中、住民の健康や、地域経済、観光、雇用、福祉、教育など多くの分野で影響が出ていることから、市へ申入れをすることになりました。議会の3常任委員会が、市民の声を聞くとともに、行政からの聞き取りや市内経済団体などの懇談を実施し、市民や事業者などの要望等をまとめ、市に対し4月28日に申入れを行いました。



市長への申入れ

## 「議会の取組」

茅野市議会議長 野沢 明夫



改選後一年、新しい取組を紹介したい。議会運営委員会への議長諮問では、請願陳情取扱い方法を検討し、市行政や市民生活に直接具体的に利害がないものを審査せず議場配布が決まった。また議会に求められる事の市民アンケートの実施を諮り、実施に向け現在準備中である。議長提案で党派による予算編成時の要望事項を市回答含め、全議員で情報共有することに決定した。政策提言へ繋げたい。議会だよりの発行。若者会議や一般市民対象の議会報告・意見交換会は、継続実施し、観光事業者と開催し、商工会議所青年部、女性団体とも開催予定である。会派や有志による議案や市側案件の勉強会が開催されている。交通弱者の移動手段を考える議員連盟が発足し、生活・福祉・観光の各分科会を設置、課題の聞き取りを実施。障害者の親御さんとの懇談会、先進地視察、政策提言に向けて活動中である。異論勉強会では議員間の見解の相違を研究し、財政分析基礎講座なども開催した。総じて、議員のやる気と活力を感じる。多士済々色が出る二年目以降にさらに期待したい。

## 令和2年3月 定例会のあらまし

茅野市議会3月定例会は、2月21日(金)から3月18日(水)までの会期で開催されました。予算や条例など20議案が審議され、いずれも原案のとおり可決、同意されました。また、請願・陳情4件が審議され、3件が採択、1件が趣旨採択となり、意見書案2件が可決されました。

## 令和2年度予算を可決

## 一般会計254億6千万円

前年度比4千万円(0.2%)の増

令和2年3月定例会に上程された新年度予算案について、全議員が所属する「予算決算委員会」で審査を行いました。

予算決算委員会

委員長 樋口 敏之

議案第11号

令和2年度茅野市一般会計  
予算について

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ254億6千万円と定めるもの。

【討論】  
●反対意見

「棚卸しと称し18事業、3千7百万円余の削減がされたが、事務事業評価で、3事業縮小、13事業現状維持、残りの2事業は拡大であるが、事務事業評価と棚卸しとの整合性はどこにあるのか。

また、令和2年度から始まる会計年度任用職員は、明らかに手取りは減額になる。いくら休みが増えたからと言って最後は給料である。ましてや国の指針は平成29年4月13日付の地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律に對する付帯決議に『会計年度任用職員への移行に当たっては、不利益が生じることなく適正な勤務条件の確保が行なわれなければならない。』とある。会計年度任用職員の待遇は各自自治体に任されている

が今回の改正は明らかに不利益である。以上の理由から反対。」

●賛成意見

「第5次総合計画や各種分野別計画の下に、6つの基本政策と政策横断プロジェクトを推進するため各予算科目に計上されている。

市民生活に欠くことの出来ない様々な施策や事務事業に予算付けされている予算となっているため賛成。」

議案第12号

令和2年度茅野市国民健康  
保険特別会計予算について

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ53億3700万7千円と定めるもの。

【討論】  
●反対意見

「国保加入者で低所得者には、国保税軽減措置の仕組みがある。その軽減者の割合が増えているとのことだが、それは国保加入者の所得水準が下がって来ている現状がある。国保は、所得割、資産割、一人一人に課税する均等割、基本料に当たる世帯別平等割と言う4つの累計で課税されている。世帯の国保加入者が増えれば増えるほど

多くの税を払わなければならない仕組みである。子供が生まれた瞬間から2万6700円の課税になる。一人一人に課税する均等割は、せめて子供の分くらいは無料にする政策転換を求めることが大事であると思う。以上の理由で賛成しかねる。」

●賛成意見

「国民健康保険は、厳しい財政運営が続いている。その中で、本予算は、現行税率のまま、繰越金等に頼ることなく、収支均衡の予算が組まれている。

健全な予算編成がなされていると言うことを評価したい。これからも安定的に運営されることを期待し、賛成。」

総務環境委員会

委員長 伊藤 玲子

議案第2号

茅野市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する  
条例について

可決

この議案は、行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。

議案第3号

茅野市土地開発基金の設置、  
管理及び処分に関する条例の  
一部を改正する  
条例について

可決

この議案は、茅野市土地開発基金の額を減額するためのもの。

問 「公共施設整備が減少している中で、基金の活用も減少している。基金が6億円から4億7千万円に減額すると言う内容であるが、土地の価格は変動があるが、土地の価格に変動があっても基金の4億7千万円は変わらないのか。」

答 「土地の価格は取得した時の価格、簿価でやっているのだから、価格の変動はない。」

議案第6号

茅野市国民健康保険条例の  
一部を改正する  
条例について

可決

この議案は、刑事施設に拘禁された者等に対する国民健康保険税額の減免に係る規定を整備するためのもの。

問 「今まで、この59条の方に対してどの様な対応をしたのか、また受刑者の住所は通常どこにあるのか。」



**答** 「その被收容者又は家族が相談に来た時にその事実が初めてわかる。その事実確認は在監証明書を出してもらう。その事実を確認した時点でさかのぼって資格喪失をさせ課税の賦課の取消を行っていい。住所については当該刑務所を住所として取り扱っている。」

議案第20号  
損害賠償の額の決定について

可決

公用車の事故による損害賠償の額の決定について議会の議決を求めるもの。

請願2  
諏訪市四賀ソーラー事業(仮称)開発計画に関する決議を求める請願

趣旨採択の意見

採択

「茅野市がこの内容に関わる部分の協議に当事者として参加するわけにはいかない。現実問題はいろんな瑕疵や不備があっても現状の条例アクセスや法アクセスに消化していつても市側の姿勢は、ある程度の距離感が必要であるし、その当事者としてあり得ないと明言している。また民間同士だと言う事が明確にそれを表している。同じ地方公共団体の一翼を担う議会とし

てもその市の立場に準じて判断をすべき。趣旨については前段の目的と結果に関わる部分の事態改善と霧ヶ峰一帯の今後の有り方を求めると言った趣旨には賛同できるが、それに伴う議会の市長への決議に関しては法律上裏付けがないと出来ないということから趣旨採択が妥当。」

「土地所有者と請願者との協議の場ということになるがその利害関係者である以上は民間同士である。その民間同士に関しては介入するわけにはいかない。出来る限りお互いで解決してもらわなければいけない。請願者の不安な気持ちは十分理解しているが趣旨採択。」

「地権者との話し合いが十分に成されていない。それぞれの団体が同じ目的を持っていると言うことは確認出来ているので、もう少し膝を突き合わせて話をし、それでも越えられないものがあつた時に行政が動く必要があるのではないかと。考えは賛成だがこの請願をそのまま通すのは賛同できない部分がある。よって趣旨採択。」

「茅野市の森林資源を守るといふ立場でも深く考えて行かなければならない。事業地が諏訪市であることと、現段階で議会が市長に協議の場を求めると言うことはいかなものかと思う。請願者の気持

ちは察するところではあるが趣旨採択。」

「自治体というのは住民の生命財産健康を守ることが主任務である。その面において住民に害が及ぶ可能性があるなら当事者と成り得る権利はある。今議会としてやらなければいけないことは当事者として成り得ると思うので、そこには声を上げると言うことは出来る範囲でやらなければいけない。ただ採決になるとどうかという面もある。住民の皆さんの声をそのまま潰すということは心許ないので趣旨採択。」

経済建設委員会

委員長 矢島 正恒

議案第4号  
茅野市森林環境譲与税基金の設置、管理及び処分に関する条例について

可決

この議案は、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が施行されたことに伴い、当該譲与税を適正に管理等運用して行くため、茅野市森林環境譲与税基金を設置するためのもの。

**問** 「単年度で使うのではなく、基金とするのはなぜか。」

**答** 「この税は、個人有林を対象にしており、譲与されてすぐ

に使うのは難しい。使うまでの準備に相当な時間がかかるので基金を設置する。」

**問** 「基金を貯めこまないようにする条例規則等はあるのか。」  
**答** 「条例規則等はないが、早急に準備を進めて森林整備を進めて行きたい。」

議案第7号  
茅野市道路河川等公共物管理条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、発電に係る流水占用料を定めるためのもの。

**問** 「鉱工業用に係る設定があるが、市内に該当する企業はあるか。」

**答** 「現在はない。」



現地視察の様子 前宮水眼広場



現地視察の様子 交流センター前宮

議案第8号  
茅野市都市公園条例の一部を  
改正する条例について

可決

この議案は、整備の終了する「前宮水眼広場」を街区公園に加えるためのもの。

問 「公園の位置付けはどうなっているか。」

答 「都市再生整備事業の中の公園事業と言う形で位置付けているため公園として管理をしていきたい。面積的には街区公園の基準に当てはまり街区公園として位置付けている。」

請願1  
軽油引取税の課税免除の特例措置の継続を求める請願

採択

採択の意見

「スキー場の経営にかなり支障がでてくる。特例措置を継続してもらいたいので採択。」

「スキー場は、茅野市の冬の大切な観光資源。現在、温暖化に伴って降雪機等の稼働が増えており、特例措置が廃止されると、スキー場の規模縮小等影響が大きいため、採択。」

福祉教育委員会

委員長 小尾 一郎

議案第5号  
茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の訂正に伴い、関係規定を整備するためのもの。

問 「題名を変えたいということ、もう一つ、食事の提供に要する費用の取扱いの変更と概要に書いてあったが、それに基づいての条例変更ということでもいいか。」

答 「食事の提供に関しては、9月の一部改正で変更済なので、今回変更点はない。今回はあくまで9月条例改正時の基準の表記誤りの修正である。」

陳情2  
障がい者の送迎サービスを求める陳情

採択

採択の意見

「今までも課題に出していたし、今後もずっと課題になっていく問題である。陳情事項として想いの強い言葉ではあるが、市がしっかりと考えていってほしいということとで採択。」

「今までも当然やっていることと思っているが、まだまだ遅れている。障がい者に寄り添って、考える契機をつくってもらった。真摯に受け止めなくてはならない。採択。」

「茅野市に養護学校に通う対象者が多く、しかし卒業後通う事業所が少なく他市に通所しなければならぬという現状を鑑みれば、『茅野市の責任をもって』という強い言葉ではあるが、送迎サービスに

ついては、強い意志をもって先に進んでもらいたいので検討してほしい。送迎ができないことによつて通所できず、引きこもりになつたという事例もある。そこに福祉の手を差し伸べていかなければならないということになると、市の仕事ではないかと考えられるので、総合的に鑑みれば採択。」

趣旨採択の意見

「趣旨については非常に納得できるが、陳情事項について、非常に強い言葉でそのままストレートに採択するのは、どうかと思うので、趣旨採択。」

「茅野市単独ではなくて、6市町村や県のレベルに上がっていくべき事項。陳情者の気持ちもわかるので趣旨採択が妥当。」





陳情3  
医師養成定員を減らす政府方針  
の見直しを求める陳情書

採択の意見

「地方の医師不足は感じられる。諏訪中央病院でも、現在、産科の医師は一人しかいない。里帰り出産も予約を受け付けられないという現状がある。採択し意見書をあげてもいいと思うので採択。」

「人口は減少しても高齢化で医師が不足すると考えられるので、働きかけを国にしていくことは必要だと考えるため採択。」

「人口減少になるのに医師を増やすことに疑問を持っていたが、高齢者が増えるから医師が必要というのと、現状の医師の労働時間の分析結果を信用するのであれば、医師を増やしていくのは妥当だと思う。新型コロナウイルスの影響を鑑みると、医師が少ないということは危機管理の観点からも日本の安全保障の問題にも関わってくるため、この陳情は妥当だと思うので、採択。」

趣旨採択の意見

「医師を増やせば問題は解決するのかもしれないが、内容的には増えたほうがいいと思ひ、趣旨採択。」

旨採択。」

「令和元年度政府の社会保障審議会医療部会の資料をみた。この陳情では、政府が定員を減らすと決まったように受け取れるが、そうではなく、令和4年以降に医師の働き方改革を含めて、医師の地域偏在、勤務時間の長期化、もろもろ再度医師の問題を見直すことと地域医療の崩壊、そういうことが起きないように、令和4年に向けてやっている途中である。この陳情の趣旨はわかるので、趣旨採択が妥当。」

本会議における討論

陳情2

障がい者の送迎サービスを求める陳情

●反対討論

「毎年数名が養護学校の高等学校課程を修了していく中で、茅野市内だけでなく、他市町村の事業所まで、乗り換え無しを送迎サービスが実現可能かどうか、また行政が各事業所に送迎サービスを要請することが出来るのか疑問があるため、反対。」

「市の事務として実施可能なことは、福祉政策として、通所障がい者送迎を含めた作業所の総体的運営に対する運営費助成などの支援や交通弱者、公共交通政策への配慮である。不採択は、市の障がい者への支援を否定するものではない。」

営に対する運営費助成などの支援や交通弱者、公共交通政策への配慮である。不採択は、市の障がい者への支援を否定するものではない。」

「陳情の趣旨は非常に大切であるが、市が単独で取り組む事業とは考えにくく、広域的見地から、他市町村の施設利用者や事業所通所者も含めた諏訪圏域、さらには長野県全体での取組が進められるべきと考える。市の限られた財源の中で、市民からの様々な陳情・要望等を、全て事業化し取り組んでいくことは、将来的に、財政の硬直化を招き、慢性的な基金の取崩に頼る『予算編成』となることは目に見える。市において『交通弱者の足』の確保についての積極的な取組の方針もすでに示されていることから、本陳情の採択には慎重であるべきだと考え反対。」

●賛成討論

「障がいを持つ方々の就労支援制度に『就労移行支援事業所』や『就労継続支援事業所』があるが、それを利用したくても利用できないという現実がある。福祉の担い手は行政なのか民間なのか、行政と民間が協働して進めるものなのかといった『線引き』は、あいまいで大変わかりにくい。だからこそ、しっかり議論し、課題解決に向け

て行政として成すべきことは何かを見極め、必要な策を講じていくことが重要である。茅野市単独で解決できなければ、諏訪広域連合や県等、しかるべきところに話を繋いでいくこともまた、行政の責任であると考え、賛成。」

陳情3  
医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書

●反対討論

「平成30年の医療法及び医師法の一部を改正する法律により地域における医療提供体制を確保する為の検討が行われているところであり、『医師の養成定員を減らす政府方針』という表現は事実と異なり反対。」

●賛成討論

「国民の命を守るため、医療体制の維持は、医師、医療従事者、病床の数を保つていく事は重要。現在、新型コロナウイルスに対する医療体制状況を見れば医師の数の維持は必然である。さらに医師の長時間労働の問題も考えれば、医師の数を経済協力開発機構加盟国平均以上の水準に増やす事は妥当だと思ひ、これから医師の数を国が検討する方向性である。この意見を国に挙げていく必要性もあり賛成。」

3月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧及び報告

付託委員会 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算  
○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	付託委員会	議決結果	両角 実晃	木村 かほり	吉田 基之	竹内 巧	伊藤 正博	机 博文	東城 源	木村 明美	小尾 一郎	矢島 正恒	松山 孝志	長田 近夫	伊藤 正陽	伊藤 玲子	樋口 敏之	望月 克治	伊藤 勝		
市長 提出 議案	1 財産区管理委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	2 茅野市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	3 茅野市土地開発基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	4 茅野市森林環境譲与税基金の設置、管理及び処分に関する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	5 茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	6 茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	7 茅野市道路河川等公共物管理条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	8 茅野市都市公園条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	9 令和元年度茅野市一般会計補正予算(第5号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	10 令和元年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	11 令和2年度茅野市一般会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	
	12 令和2年度茅野市国民健康保険特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●
	13 令和2年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	14 令和2年度茅野市国民健康保険診療所特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	15 令和2年度茅野市水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	16 令和2年度茅野市下水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	17 令和2年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	18 令和2年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	19 令和2年度茅野市泉野大日影財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	20 損害賠償の額の決定について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	1 軽油引取税の課税免除の特例措置の継続を求める請願	経	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	2 諏訪市四賀ソーラー事業(仮称)開発計画に関する決議を求める請願	総	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
陳情	1 介護保険事業者の指定事後に生じた欠格事業者に対する対応に関する(を求める)陳情		議場配布	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	2 障がい者の送迎サービスを求める陳情	福	採択	●	○	○	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○		
	3 医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書	福	採択	●	○	○	○	○	●	●	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○		
議員提出議案	1 意見書案の提出について(軽油引取税の課税免除の特例措置の継続を求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	2 意見書案の提出について(医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
報告	1 専決処分の報告について																					

議決日は、3月18日の議会最終日(但し、議案第1号は、2月21日の開会日に即決)

茅野市の課題を問う!

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』より会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

3月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
伊藤正陽	1 JR茅野駅周辺の整備について	(1) 駅西口リニューアル基本計画策定を進めるに当たっての駅利用者の実態について (2) 駅利用者と地域住民の声について (3) 駅機能を東西両口がどう担うかについて (4) 駅周辺の公営駐車場の整備について
	2 道路標識と公共施設や観光の案内看板について	(1) 道案内をする道路標識の実態と管理について (2) 市内の道路標識(案内)の統一性・一貫性を保つための計画策定と計画管理について (3) 公共施設や観光の案内看板の設置について
小尾一郎	3 政策・施策・事業の決定に至る過程について	(1) 提言の取捨選択基準について (2) 政策化の基準について (3) 政策決定に至る庁内手続きの流れについて (4) 執行時期予定決定の手続きの流れについて
伊藤玲子	4 認知症対策の更なる強化について	(1) 茅野市の認知症の現状と予測について (2) 認知症初期集中支援チームの現状と課題について (3) 認知症になっても尊厳が守られ地域で豊かに暮らせるための市の考え方について (4) 「認知症になっても豊かに暮らせるまち」(仮称)の条例制定の考え方について
	5 「たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む」ための更なる強化について	(1) 小中学校・保育園での給食について (2) 小中学生の体力について (3) 子ども達のゲーム依存等による弊害について
矢島正恒	6 今井市長が目指すまちづくりのスタートとなる令和2年度予算について	(1) 市長が目指すまちづくりが、どう新年度予算に反映されているか (2) 財政運営の現状と新年度予算における財政の健全性について
	7 市民の健康づくりの推進について	(1) 健康意識を高める「健康づくりポイント事業」の取組状況と更なる推進について (2) 高齢者の運動習慣の定着について
木村明美	8 幼児教育・保育の無償化に伴う保育園のあり方について	(1) 新年度の保育の受入状況について (2) 無償化による保育体制について (3) 今後の保育園のあり方について
	9 茅野市における人口減少対策について	(1) 交流人口に対する考え方について (2) 人口減少対策としての市の行政サービスについて (3) 若者に対しての働きかけについて (4) 今後の進め方について
樋口敏之	10 財政運営の将来像から見る事業の見直しについて	(1) 時代に即した「パートナーシップのまちづくり」の考え方と方向性について (2) 見直し状況と今後のスケジュール、方法について (3) 国保税率の見直しについて
吉田基之	11 諏訪市四賀ソーラー事業(仮称)について	(1) 国が4月から実施する新制度での環境アセスへの対応について
	12 観光地と別荘地及び中山間地集落の二次・三次交通について	(1) 別荘所有者の市税収入の状況について (2) 現時点での市の対応状況について (3) 公共交通の交通空白地域及び中山間地集落の有償運送について (4) 自家用有償運送実現のための条件について (5) 有償運送実施に向けた関係機関との協議の場の設置について
竹内巧	13 御射鹿池を訪れる観光客への対応について	(1) 御射鹿池を訪れる観光客の実態と課題について (2) 平成30年3月に発足した「関係者会議」の活動状況について (3) 蓼科エリアとして捉えた時の御射鹿池の活用策について
	14 ニーズに応える公共交通の実現に向けた具体的な取組について	(1) 「プロジェクト組織」及び「検討会立ち上げ」に向けた取組状況について (2) 「横断的プロジェクトの組織」及び、「市民、事業者等を含めた検討会の立ち上げ」を実現する際の課題は何か (3) 実用的な公共交通を実現するまでのタイムスケジュールについて



	件名	要旨
伊藤正博	15 茅野市水道事業の現状と課題について	(1) 美味しい水の確保とその安定性と安全性の現状について (2) 大規模災害への対策について (3) 水道事業の恒久化対策の現状について (4) 茅野市が経営する老朽化した水道施設の更新について (5) 茅野市以外が経営する老朽化した水道施設の更新について
	16 地域資源を活用した活力あるまちづくりについて	(1) 地域資源について茅野市が他自治体よりも最も優位だと考えるものは何か (2) 政策横断プロジェクトについて (3) 持続可能な茅野市構築のための核となるべきものについて
伊藤勝	17 公共交通再編後の取組について	(1) 茅野市・原村地域公共交通活性化協議会の現況は (2) 住民要望と検証を踏まえたうえで、どのような方向性を持っているのか
	18 特定健診について	(1) 受診率を含めて特定健診の現状と問題点は (2) 検査項目の拡大は可能か (3) 最新の情報をどう捉えているか
両角実晃	19 蓼科湖畔における「道の駅」について	(1) 茅野市における道の駅の必要性和役割について (2) 道の駅「ビーナスライン蓼科湖」(仮称)の進捗状況について (3) 国交省認定後の市としての関わりについて
	20 スポーツ庁公表の体力低下について	(1) 茅野市の現状について (2) 体力低下にともない、どのような影響が考えられるか (3) 今後の茅野市の取組について
望月克治	21 感染症対策について	(1) 新型コロナウイルスに対して、市としての対応は何かなされているか (2) 市民からの問い合わせはあるか (3) 医療機関と行政との連携は考えられているか (4) 感染症が市内でも広がった時の対応について
	22 市民力の活性化を促す行政と公共施設の役割について	(1) 市民の自己実現の場としての公民館の役割は何か (2) 市民の文化との接点となる図書館、市民館の役割とは何か (3) 市民憲章を実現するため、行政が果たすべき役割は何か (4) 市民力向上のために公共施設の果たす役割とは何か
木村かほり	23 障がいを持つ方の外出支援について	(1) 「茅野市ふれあい保健福祉事業」の外出支援事業の現状と課題について (2) 外出支援事業の市社協への委託について (3) 「茅野市障害者保健福祉計画」のヒアリング調査結果への対応について (4) 県が推進する「あいサポート運動」について
	24 不登校等の児童生徒への支援体制について	(1) 学校以外での居場所の設置について (2) 地区こども館の利用について (3) 学びの保証について (4) 多様な学びの創出の推進の取組について
机博文	25 茅野市地域創生総合戦略の見直しについて	(1) 市民アンケートの総括と対応について (2) 郷土愛を育む取組の推進について (3) シティプロモーションの「シビックプライド」について (4) 将来展望人口について
	26 令和2年度予算編成について	(1) 第5次総合計画に対する予算編成の考えについて (2) 第2次地域創生総合戦略に対する予算編成の考えについて (3) 地区コミュニティ運営協議会への支援について (4) 自主財源確保とふるさと納税について (5) 基金について
東城源	27 温泉施設の現況と今後の整備計画について	(1) 指定管理者制度を導入した経緯とその効果について (2) 平成28年4月の利用料金改定後の収入について (3) 福祉コミュニティ温泉の位置づけについて (4) 今後の整備計画について (5) より多くの住民利用の方策について
松山孝志	28 新体制下における令和2年度予算編成について	(1) 新体制のトップとして、今までの予算をどう捉えていたか (2) 初予算編成にどのような思いを指示したか (3) 基本方針にどの程度予算が付けられたか (4) 新年度予算編成は従来の考えをどの程度変えられたか (5) 予算編成を終えて、課題は何か



令和2年3月定例会 請願陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
請願1	軽油引取税の課税免除の特例措置の継続を求める請願	軽油引取税の課税免除の特例措置が令和3年3月末に廃止される。免除が廃止されるとゲレンデ整備車等に軽油を使用するスキー場の経営維持が困難となり地域経済に大きな影響を与えるため、国に対し課税免除の特例措置を継続することを求めるもの。	信州総合開発観光株式会社ほか3社	採択	採択
請願2	諏訪市四賀ソーラー事業(仮称)開発計画に関する決議を求める請願	霧ヶ峰地籍で計画する大規模太陽光発電事業で開発による大清水湧水、周辺一帯生態系などへの環境影響、災害発生の懸念から、事態を打開するための方策として、開発計画を含めた今後の霧ヶ峰一帯の在り方について、行政の枠を越えて検討する必要があるため、協議の場を設けることを求めるもの。	米沢地区Loopソーラー対策協議会ほか6団体	趣旨採	趣旨採
陳情2	障がい者の送迎サービスを求める陳情	心身障がい者が積極的に社会に参加し自立した生活を確立していくため、事業所を利用する際の送迎サービスを市の責任において確保、また各事業所に対し送迎サービスを実施するよう働きかけることを市に求めるもの。	篠原貴子	採択	採択
陳情3	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書	令和4年度以降の医師養成定員減という方向を見直し、医療現場と地域の実態を踏まえ、国に対し、医師数を経済協力開発機構加盟国平均以上の水準に増やすことを求めるもの。	長野県医療労働組合連合会	採択	採択

病児・病後児保育施設 「おやすみ館」の見学をしました

4月1日開館の諏訪中央病院東側に新築した、病児・病後児保育施設「おやすみ館」を3月13日に見学しました。おやすみ館とは、保護者の就労と子育ての両立を支援するため、生後6か月から小学校6年生までの子どもが、病気または病気回復期で、集団保育ができない期間、一時的に預けることができる施設です。建物は木造平屋建てで、感染力の低い病気の子どものみ過ごす保育室、感染力の高い病気の子どものみを守る隔離室、回復傾向にある子どもを保育する観察室の3つに分かれています。保育士2人と看護師1人が配置されます。



## 諏訪広域連合と一部事務組合の議会

広域連合と一部事務組合は、複数の普通公共団体が行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織で特別地方公共団体です。具体的には、隣接する市町村がごみ処理や消防、火葬、大学などの運営を行うために設けられた組織です。それに対応する議会がそれぞれあります。

茅野市議会議員は分担し広域連合と各一部事務組合の議会へ参加し、審議と議決に加わっています。

### 諏訪広域連合

構成市町村：岡谷市 諏訪市 茅野市 下諏訪町 富士見町 原村 議員定数：22人

構成議員：野沢明夫（監査）、竹内巧、伊藤正博、望月克治、伊藤勝

諏訪広域連合では、介護保険法事務、広域消防に関する事務、救護施設八ヶ岳寮では身体や精神に障害のある方の保護



施設の運営、諏訪地区小児夜間急病センター運営などを行っています。いわゆる市町村が単独で行うことが難

しい事務を担当しています。他にも地域情報化、観光振興、諏訪湖浄化の推進など地域課題の調査研究を担っています。



### 諏訪中央病院組合

構成市町村：茅野市 諏訪市 原村 議員定数：7人

構成議員：伊藤玲子（議長）、両角実晃、木村明美、小尾一郎、望月克治



諏訪中央病院は、当時国民健康保険の保険者であるちの町が、保健事業を行う公共施設としての国保直営病院開設が始まりです。その後9ヶ村が、市町村とは別の、病院経営に特化した地方自治体として、病院組合を設立して経営を移管しました。市町村合併で現在の茅野市、諏訪市、原村による組合立病院となっています。その後も「やすらぎの丘」、「看護専門学校」「ふれあいの里」などを組合で経営している、住民の福祉増進のための施設です。



## 白樺湖下水道組合

構成市町村：茅野市 立科町 議員定数：7人  
構成議員：小尾一郎（議長）、両角実晃、竹内巧、長田近夫

白樺湖下水道組合は、白樺湖浄化とその周辺の自然環境の保全のため、昭和51年1月に茅野市と立科町が下水道事業を共同で行うことを目的とする一部事務組合として設立しました。昭和56年3月から白樺湖浄化センターで白樺湖地区の汚水処理が行われていましたが、白樺湖浄化センターの廃止により、平成28年3月末に諏訪湖流域下水道への切り替えを行い、諏訪市にあるクリーンレイク諏訪にて白樺湖地区の汚水処理が行われています。

現在は、白樺湖・車山・立科エリアにある7ヶ所の汚水ポンプ施設の維持管理を行い自然環境の保全に努めています。



南中継ポンプ場



白樺湖浄化センター

## 諏訪南行政事務組合

構成市町村：茅野市 諏訪市 富士見町 原村 議員定数：13人  
構成議員：樋口敏之（議長）、東城源、矢島正恒、松山孝志、伊藤正陽

諏訪南行政事務組合は、火葬場「静香苑」の運営と、諏訪市を除く3市町村でゴミ処理事業を行っている複合的一部事務組合です。

現在、ゴミ処理の循環型社会を形成する施設として「諏訪南リサイクルセンター」建設に取り組んでおり、令和3年度の運用開始に向けて事業を行っています。

また、静香苑では会葬者のみなさまが快適にご利用



静香苑待合室



諏訪南リサイクルセンター造成状況

いただけるように、待合室をテーブル形式にし、エアコンの設置を行いました。

単独の市町村ではコストがかかる事業を、複数の市町村で協力しながら、住民のみなさまが安心して暮らしやすいよう事業に取り組んでいます。



## 諏訪市・茅野市衛生施設組合

構成市町村：諏訪市 茅野市 議員定数：7人  
構成議員：樋口敏之（副議長）、伊藤正陽（監査）、伊藤玲子

諏訪市・茅野市衛生施設組合は、両市のし尿処理と合併浄化槽の汚泥を処理するためにつくられた組合で、処理施設＝中央アメニティーパークは諏訪市豊田にあり、豊田終末処理場の隣にあります。諏訪市長が組合長で、茅野市長は副組合長です。歳出（平成30年度決算）は1億342万円（繰越金2992万円を含む）で主な歳入は両市の分担金6711万円（茅野市4366万円）と使用料1058万円です。



中央アメニティーパーク

## 諏訪広域公立大学事務組合

構成市町村：岡谷市 諏訪市 茅野市 下諏訪町 富士見町 原村 議員定数：20人  
構成議員：松山孝志（議長）、木村かほり、吉田基之、机博文、矢島正恒、長田近夫、伊藤勝、野沢明夫



公立諏訪東京理科大学

諏訪広域公立大学事務組合は、公立大学法人公立諏訪東京理科大学の運営を共同処理するために設けられた特別地方公共団体で一部事務組合とも言われます（略称は一組）。一組は3年目に、公立大学法人は2年目に入ったばかりです。

事務組合議会は一組の議決機関で前記法人の設立に当たって、定款等必要事項の議決を行ってきたところですが、以降一組の予算決算審査や大学法人の経営状況等の確認を主な任務として取り組んでいます。公立化後の大学は定員割れを回復し各年度定員300人、来年度には計1200人超の規模になっていく状況です。

## 編集室「より」

見えない敵、新型コロナウイルスの影響について。

3月冒頭に突然、学校が休校。いきなりの事に当然困惑する親、子ども達。ある小学生の男子のお父さんから「うちの子は宿題はすぐにやる子だった。でも突然の休校で気持ちが悪え、やる気がなくなつて宿題をやらない。どうして休校になつたのか理解できないようだ。」まさに東日本大震災の時と同じ。大きな損害から小さな子供たちへの心の影響も心配される。議会として市民の皆さんの声を集め行政に伝え情報発信する事も本当に重要だと痛感。観光業、飲食業、イベントなど社会全体が大打撃。すべてに波及していく。社会はすべて繋がっている。普通の生活がいかにかに尊いものか本当に考えさせられる。議会として支援や応援方法は重要な課題である。

吉田 基之  
議会広報部



### 議会広報部会

部員	部員	副部会長	部会長
吉田基之	木村かほり	両角実晃	伊藤正陽
部員	部員	部員	部員
樋口敏之	伊藤玲子	小尾一郎	机博文